

特集! 大地震に備えよう!

いつ起きてもおかしくない「東海地震」!

なぜなら、西暦1500年以降このエリアでマグニチュード8クラスの地震が100~150年周期で起きているにも関わらず、1854年の安政東海地震~今年2005年までの150年間、大きな地震が発生しておらず、地震の原因である海洋プレートのひずみが相当蓄積されていると予想されているからです。

Are you ready?
避難グッズは準備OKですか?

■■■ いざという時の為に以下のようなものを揃えておきましょう。



- 救急・衛生用品 [包帯・ガーゼ・消毒・ティッシュ・携帯トイレ・生理用品・常備薬など]
- 飲料水・食料 [飲料水・カンパン・レトル食品・缶詰・箸・コップ・鍋・ポリタンクなど]
- 防災用品 [ラジオ・懐中電灯・電池・マッチ・ライター・ろうそく・卓上コンロなど]
- 衣類関係 [下着・肌着・衣類・防寒具・雨具・タオル・ブランケットなど]
- 貴重品 [現金(小銭も)・印鑑・通帳・免許証・保険証・各種証書の写しなど]
- 日用品・その他 [ゴミ袋・ガムテープ・ラップ・アルミホイル・カイロ・予備の眼鏡・筆記具など]

その時どうすればいいの?

■■■ 地震が発生しても慌ててはいけません。落ち着いて順序良く行動しましょう。

- 1身を守るために丈夫なテーブルや机の下などに隠れましょう。
(家屋の倒壊の心配が無い場合、慌てて外に飛び出してはいけません)
- 2ガスコンロやストーブなど火の始末をしましょう。
(火傷等の恐れがあるので、揺れがおさまってから落ち着いて消します)
- 3玄関などの扉を開けて出口を確保しましょう。
(揺れがおさまったら、扉を開けて出口を確保します)
- 4家の外にいる場合、狭い路地や、塀の近くは危ないで近寄らないようにします。
(瓦が落ちてきたり、塀が倒れてきたり危険です。)



お家の地震対策は万全ですか?

地震の対策と言うと、まずは食料と水の確保と考えがちですが、例えば阪神・淡路大震災では、水や食料の不足が原因で亡くなった人は1人もいないそうです。
では、死亡原因は?というところ...犠牲者の80%は、転倒した家具や倒壊した家屋の下敷きになった圧死と言われています。

■ 地震に強い家づくり ■■■
なにとはともあれ、家が倒壊してしまえば話になりません。
KINOKENでは、耐震工事も承っております。
また、市町村によって、耐震工事の補助が出る場合もあります。(例えば名古屋市の場合、60万円を限度とした補助を受けることができます。)
その際に必要となる面倒な申請などできる限りお手伝いをさせていただきます。



■ 家具の転倒防止 ■■■
最近ではホームセンターに行くのと突っ張り式のものなど、素人でも簡単に取付けができる商品が多く発売されています。
ただ、見栄えが気になる場合や下地の有無により、そのままでは取付けができないことも多々あります。そんな時はKINOKENにお任せ下さい、プロならではの技術でお応えします。



Staff 通信欄

先日、私の誕生日祝いと称して友人と集まり楽しいひと時を過ごしていました。高校からの友人で気心しているの、そして以前は気にならなかったのですが、誰かが話の中で「この曲、いよね」と言うところ友人は「私それくらい!!」又「あの芸能人がかっこいいよね」と言うと「私はあのひとくらい!!」という言い方をします。何気になりました。なとえ嫌いであっても、楽しい会話の中で相手の好みを完全否定するのはいかにがなもかかと感じました。「私はあまり好きではないなあ」では駄目?曖昧な日本人はい理屈でしょうか... 潮見

私たちがご案内致します





地震に強い家、弱い家。

「カイトキ生活応援団」

KINOKEN NAGOYA 瓦版
- SINCE 1949 -

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合が8万戸の住宅を調査したところ、全体の約7.5%の家屋が地震の揺れに対して危険と判断されました。(表1)
そして、この調査をした家屋で昭和55年以前に建てられた家に関しては「倒壊・大破壊の危険」が増えているのが右の表からわかります。(表2)
もちろん建物の老朽化もありますが昭和の建築基準法の大改正により「新耐震基準」施行された年以前と以後との建物に差ができてしまった事も挙げられます。

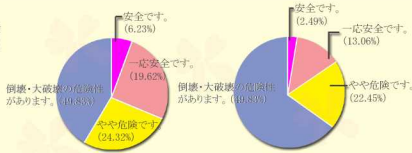


表1 耐震診断結果(全体)

表2 耐震診断結果(昭和55年以前)

強い家って？

日本の建築基準法の耐震基準は「震度5では壊れず阪神大震災クラスの震度6~7でも倒壊はしない強度」とされています。という事は建築基準法に沿って工事を行えば、地震におびえる事はないのです。

地震に強い家は・・・

1、土地の地盤が固く、しっかりとした土地であること。

いくら家を丈夫にしても、その家が建っている土地の地盤が悪くは意味がありません。家を購入される時などその土地の地盤がどのような地層になっているかを調べて下さい。たとえ地盤が悪くても地盤改良やコンクリートの柱を何本も地面に入れて改良する、柱状改良などの補強ができます。

2、建物の形はシンプルな形状をしていること。

地震は前後左右、上下と揺れます。直下型になると上下方向の揺れが激しくなります。揺れる事で建物に「ねじれ」が生じやすい「コ字型建物」「L字型」「凸凹の多い複雑な形状」の家は建物の角部が壊れやすいと言われます。

3、軽い材料の屋根材を使用している。

建物の構造が同じであれば、屋根が軽いほど地震に強くなります。地震の力は重さに比例します。最近では金属屋根(ガルバニウム鋼板、亜鉛合金板など)が使われる事が多くなってきています。

4、バランス良く壁が配置されている。

「耐力壁」を外周部にバランスよく配置されていること。「耐力壁」とは地震力や風圧力などに建物が耐える為に入れる壁のこと。(筋交や構造合板などをいう)開口部の多い家は耐力壁が少なくなる傾向にあります。



我が家は大丈夫？

いろいろと不安になる様な事を書きましたが、素人判断ではなく各市町村で無料耐震診断を利用して、我が家の耐震診断をさせてはいかがでしょうか。

地震の被害の8割近くは家の崩壊によるものと言われます。私たちを守ってくれる家が反対に命を奪うものとなりかねません。「耐震診断は無料でも、耐震補強工事は高いって聞くわ。」

たしかにお安くはありませんね。壁を補強したり、金物補強したり土台など腐っていたり、シロアリの被害があったり、家が古ければ古いほどいろんな事ができます。通常のリフォームの内容と比べ家の躯体そのものに手を加える事になるので工事が広範囲に及び可能性もあります。耐震補強と平行リフォームを考えてみても良いかと思います。壁に補強を加える事で、床、天井、廻り子、巾木、クロス、すべてがかわってきてしまいます。それを考慮の上耐震補強リフォームを計画をお考え下さい。

名古屋市では最高60万円までは市から耐震工事補助金が出ます。詳しくは、名古屋市住宅都市局建築指導部 建築指導課 耐震対策係 電話(052)972-2921までお問い合わせください。木下建設名古屋支店でも承っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

ちやうと月曜心に響く名言

毎朝月曜の朝、全国の何千万というサラリーマンが、それぞれの小さな生活革新の決意を抱いて家を出る。しかし、その朝はじめて出会った人の涙面や不機嫌に会うと、決心はたちまちくずれてしまう。不機嫌はAからBへ、BからCへと社会的連鎖反応を起こしていく。
<朝日新聞論説より>

積極的に仕事をすれば失敗するのは当たり前前
<佐藤 辰雄(明治食品社長)>

どうやって早く前進するかより、どうやって一歩を実感するかが大事。
<古館伊知郎>

運をつかむには、とりあえずうごかなきゃうごかなきゃ何も始まらないでしょ？
<折原 ひと(作家・漫画家)>